

## 2025年度 授業シラバス

科目名	PCスキル基礎	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

映像編集の基本を習得すること 後期は自分で企画した作品を完成させること

### 【到達目標】

編集ソフトウェアの基本的な使い方から応用までをマスターし、映像編集技術を理解し習得する

### 【教員の略歴】

映像、音楽製作/メディアアーティスト 大阪府立高等学校(芸能文化科)非常勤講師  
イベント、ファッションショー、音楽ライブなどのVJ、映像演出、プロジェクションマッピング、近年はV-tuberの技術サポート等  
某匿名Vocaloidプロデューサーでありバンドマンでもある

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	編集の基本とコンピュータ	①	タイトル作成2D
②	カメラサイズ ショットの名前	②	タイトル作成3D
③	モンタージュ 絵コンテ1	③	SE BGM サウンド MA
④	モンタージュ 絵コンテ2	④	企画書
⑤	photoshop 基本 顔の修正	⑤	その他ソフトウェア解説
⑥	illustrator 基本 パスとブラシテクニック	⑥	企画チェック
⑦	レイヤーアニメーション(PSD)	⑦	製作1
⑧	キーフレームアニメーション(AE)	⑧	製作2
⑨	3Dレイヤー(AE)	⑨	製作3
⑩	エフェクト	⑩	製作4
⑪	テスト 静止画 そっくり画像を再現	⑪	作品提出 テスト
⑫	編集 テロップ 作成	⑫	製作5
⑬	キー合成 グリーンバック	⑬	製作6
⑭	連携 AEと他のソフト	⑭	最終チェック
⑮	レンダリングについて	⑮	上映
準備学習 時間外学習	お気に入りまたは好きな作品の研究をして構造、つくりのわからないところを質問してください	評価方法	テスト(実技)／出席日数
受講生への メッセージ	好きなことを学べます。あなたの推しへの情熱を、愛を作品で見せてください	使用教科書 教材 参考書	要googleアカウント USBメモリ,HDDまたはSSD等のデータストレージ

## 2025年度 授業シラバス

科目名	セルフプロデュース	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 今の時代に必須であるSNSをうまく活用し、運用するための基礎知識							
【到達目標】 自分自身のSNS投稿、または企業のアカウント運用などに際し、個性や強みをより上手に発信できるようになり、分析をしながら運用できるようになること。							
【教員の略歴】 現在の職業：SNS運用コンサルタント業【プロジェクトマネージャー】 新規顧客開拓および既存顧客との関係構築を担当。 【プロジェクトマネージャー】ブランド戦略の立案と実施を担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション：時代の変化とSNSの重要性	①	認知バイアス：知っておくべきバイアス10選
②	SNSマーケティングの基礎：プラットフォームの特性と活用法	②	コピーライティング：アカウント名とワードセンス
③	必要な技術とマインド：企画・撮影・編集	③	A/Bテスト：検証と改善
④	ターゲットとアカウント：ジャンル毎の特性と運用	④	マネタイズ：種類と特徴
⑤	バズるパターン：SNSで人気のパターン	⑤	インフルエンサー：役割とリスク
⑥	アルゴリズムの理解：プラットフォーム毎の特性	⑥	広告運用：クリエイティブと戦略
⑦	ショート動画の構成：視聴させる構成とは	⑦	テーマ課題：企画考案
⑧	エンゲージメント：視聴者を動かすコツ	⑧	テーマ課題：企画考案
⑨	企画のポイント：考え方と組み合わせ	⑨	テーマ課題：撮影
⑩	撮影のポイント：注意点とテクニック	⑩	テーマ課題：撮影
⑪	編集のポイント：視覚的効果とリズム	⑪	テーマ課題：編集
⑫	インサイト：分析と改善	⑫	テーマ課題：編集
⑬	トレンド：スピード感と空気感	⑬	テーマ課題：分析
⑭	ミーム戦略：真似とアレンジ	⑭	テーマ課題：分析
⑮	前期のまとめ	⑮	最終発表とフィードバック
準備学習 時間外学習	授業で使用するスライドの確認	評価方法	試験、出席率、授業態度(礼儀マナー)
受講生への メッセージ	SNS楽しく学びながら、上手に使いこなせるようになりましょう	使用教科書 教材 参考書	授業で使用するスライド

## 2025年度 授業シラバス

科目名	スタジオワーク	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】  
録音編集ソフト「ProTools」を使って録音・編集・ミキシングを学ぶ。

【到達目標】  
セッションを作成して、録音、編集、ミキシング、バウンスが行えること。  
制作工程における基本作業を理解すること。

【教員の略歴】  
レコーディング・ホール・中継などの現場にて録音&再生、編集機器を扱う業務に関わってきました。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	セットアップ スタジオ概要	①	ミキシングバランス、音風景、ラウドネス 音楽Mix分析
②	工程(録音、編集、ミキシング、マスタリング) ProToolsシステム	②	ミキサー、Insert(プラグイン)、Send、PAN Mix: PAN&Fader
③	セッションファイル、ウインドウ(Edit、ミキサー) ルーティング	③	Trim、Filter、EQ Mix: 音色
④	ミキサー、トラック、クリップ、タイムスタンプ Rec: ナレーション	④	Gate、Expander、Comp、Limiter Mix: ダイナミクス
⑤	Editモード、カウンタ、範囲選択、スマートツール Rec: ダビング	⑤	Delay、Rev Mix: 空間
⑥	メモリーロケーション、バウンス、セッション構造 Rec: ライン、キャビネット	⑥	Rec: 楽曲
⑦	指向性、近接効果 Rec: Per.	⑦	Rec: 楽曲
⑧	音量差、時間差、位相差 Rec: ステレオマイキング	⑧	テンポ、拍子トラック、インスト&MIDIトラック
⑨	Rec: ドラム	⑨	ファイルタイプ、コーデック
⑩	前期課題制作 1	⑩	後期課題制作 1
⑪	前期課題制作 2	⑪	後期課題制作 2
⑫	前期課題制作 3 中間提出	⑫	後期課題制作 3 中間提出
⑬	前期課題制作 4	⑬	後期課題制作 4
⑭	前期課題制作 5 最終提出	⑭	後期課題制作 5 最終提出
⑮	課題披露	⑮	課題披露
準備学習 時間外学習	知らない音楽や映画や舞台を一つでも多く体験してください。	評価方法	出席、課題制作、取り組み姿勢によって評価します。
受講生への メッセージ	ProToolsを知ると、まるで「音の研究室」ように感じてもらえるでしょう。実習を通じて感覚と発想に変化が起き、みなさんの新たな道を切り開く原動力になります。学びと一緒に取り組み、サポートします。わからないことなど気軽に声を掛けてください。	使用教科書 教材 参考書	ヘッドフォンがあるとより有意義な作業になります。 課題提出などにTeamsを利用します。 USB記憶装置が必要となることがありますので用意しておいてください。

## 2025年度 授業シラバス

科目名	コンセプトワーク	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】  
グラフィックデザイン・映像デザインの視点から企画・制作を行い、作品の完成度を高めながら自身の強みを活かしたポートフォリオを構築する。

【到達目標】  
今後の就職活動やフリーランス活動において活用できるよう、これまでに制作した作品をポートフォリオに蓄積するとともに、新たに掲載する作品を制作する。また、チーム制作を通じて、協働スキルやプロジェクトの進行管理能力を向上させる。

【教員の略歴】  
ノードプロダクション代表 / 映像作家・3Dアーティスト。CG/VFXなどをはじめ幅広い映像作品を手掛ける。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション(授業進行/目的/評価基準) ポートフォリオについて/ヒアリング	①	チーム制作② 企画プレゼンテーション
②	業界研究 (トレンド/ポートフォリオの研究など)	②	チーム制作③ プリプロダクション①(リファレンス収集など)
③	過去作品の整理 (取捨選択・クレジット/コメントなどの準備)	③	チーム制作④ プリプロダクション②(ストーリーボード/シナリオ作成など)
④	ポートフォリオ構築	④	チーム制作⑤ プリプロダクション③(デザイン・撮影計画・アセット準備)
⑤	個人制作A① プリプロダクション①(リファレンス収集/コンセプト決定など)	⑤	チーム制作⑥ 進捗プレゼン①(制作内容の確認・講評)
⑥	個人制作A② プリプロダクション②(ストーリーボード/シナリオ作成など)	⑥	チーム制作⑦ 制作①(デザイン・撮影・アニメーション制作など)
⑦	個人制作A③ 制作①(デザイン・撮影など)	⑦	チーム制作⑧ 制作②(編集・モーションデザインなど)
⑧	個人制作A④ 制作②(編集・アニメーション制作など)	⑧	チーム制作⑨ 制作③(チーム内チェック・フィードバック)
⑨	個人制作A⑤ 仕上げ(演出・色補正など)・作品A提出 / ブラッシュアップ	⑨	チーム制作⑩ 進捗プレゼン②(途中経過発表・講評)
⑩	個人B/チーム制作① プリプロダクション①(リファレンス収集/コンセプト決定など)	⑩	チーム制作⑪ 仕上げ①(演出の調整・色補正・特殊効果など)
⑪	個人B/チーム制作② プリプロダクション②(ストーリーボード/シナリオ作成など)	⑪	チーム制作⑫ 仕上げ②(最終チェックと修正など)
⑫	個人B/チーム制作③ 制作①(デザイン・撮影など)	⑫	後期試験① / チーム制作⑬ 作品提出 / プレゼン準備など
⑬	個人B/チーム制作④ 制作②(編集・アニメーション制作など) / 仕上げ	⑬	後期試験② / チーム制作⑭ プレゼンテーション・講評 / ポートフォリオ更新・提出
⑭	前期試験 ポートフォリオ更新 / 作品B・ポートフォリオ提出	⑭	ポートフォリオブラッシュアップ
⑮	チーム制作① 企画制作会議(チーム結成/企画書作成/スケジュールなど)	⑮	最終フィードバック / 総評
準備学習 時間外学習	各課題において授業内で提出できない場合は、時間外で課題に励み、提出期限までに完成、提出すること。また、掲載できる作品が発生した場合は可能な限りポートフォリオを更新すること。	評価方法	試験・出席率・作品評価となります。
受講生への メッセージ	試行錯誤を繰り返しながら、自分の強みを活かした作品を生み出してください。チーム制作では協力しながら新しい挑戦に取り組み、実践的なスキルと協働力を高めましょう。自身のクリエイティブの可能性を最大限に引き出すための学びを一緒に楽しみましょう。	使用教科書 教材 参考書	SSDなどのメディアストレージまたはクラウドストレージ

# 2025年度 授業シラバス

科目名	映像制作	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

**【授業の学習内容】**  
 一年を通じて、映像コンクールに応募する作品をどんどん制作してもらいます。30秒CMから10分、15分、時間不問の長短の作品で本気で賞を狙ってもらいます！

**【到達目標】**  
 賞を狙うということはハイクオリティであり、またそれをハイペースで制作していくスピード感も重視します。そのためには学生主体で積極的なコミュニケーションとリーダーを中心に意思決定していく事を経験して下さい。プロセスも結果も求めるために高い集中力を発揮できるようになって下さい。

**【教員の略歴】**  
 大阪の制作会社でテレビ番組を、CS専門チャンネルでは音楽番組などを制作。その後、フリーランスとして番組及び企業映像を演出制作してきました。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	●チーム編成～企画会議	①	●チーム編成～企画会議
②	●シナリオ作成～絵コンテ作成	②	●シナリオ作成～絵コンテ作成
③	● <del>撮影</del>	③	●撮影
④	●編集	④	●編集
⑤	●1作品目・プレビュー会	⑤	●4作品目・プレビュー会
⑥	●チーム編成～企画会議	⑥	●チーム編成～企画会議
⑦	●シナリオ作成～絵コンテ作成	⑦	●シナリオ作成～絵コンテ作成
⑧	●撮影	⑧	●撮影
⑨	●編集	⑨	●編集
⑩	●2作品目・プレビュー会	⑩	●5作品目・プレビュー会
⑪	●チーム編成～企画会議	⑪	●チーム編成～企画会議
⑫	●シナリオ作成～絵コンテ作成	⑫	●シナリオ作成～絵コンテ作成
⑬	●撮影	⑬	●撮影
⑭	●編集	⑭	●編集
⑮	●3作品目・プレビュー会	⑮	●6作品目・プレビュー会
準備学習 時間外学習	毎月教材提示(映画・ドラマ・小説など)	評価方法	試験、授業への積極参加と、成果物
受講生への メッセージ	ひたすら映像作品に取り組んで下さい。	使用教科書 教材 参考書	授業内で使用する映画について 初回ガイダンス時に作品提示

## 2025年度 授業シラバス

科目名	映像編集	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

Adobe Premiere ProとAfter Effectsを活用し、より高度な編集技術を習得する。各受講生がYouTubeチャンネルを開設・運営し、実際に動画をアップロードできる状態にする。動画制作の実践経験を積み、ポートフォリオとして活用できる作品を作る。

### 【到達目標】

実践的な動画編集スキルを身につけ、動画クリエイターとしてのポートフォリオを完成させることができる。YouTubeなどでの活動や案件受注を目指せるレベルまでの到達が目標

### 【教員の略歴】

映像クリエイターとして企業PV、YouTubeチャンネルのディレクションなど、脚本家としてショートフィルム・テレビドラマに携わる。2021年より専門学校にて動画コース講師。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション:YouTubeの運営戦略、コンテンツ計画の立て方	①	横型動画(7)サムネイル作成&動画のアップロード
②	チャンネル開設とブランディング:チャンネルアート、プロフィール設定、ターゲット層の明確化	②	ポートフォリオ動画(1)企画
③	コンテンツ企画:動画のテーマ選定、シリーズ化、視聴者のニーズ分析	③	ポートフォリオ動画(2)撮影・編集
④	縦型動画(1)企画	④	ポートフォリオ動画(3)撮影・編集
⑤	縦型動画(2)撮影・編集	⑤	ポートフォリオ動画(4)編集
⑥	縦型動画(3)撮影・編集	⑥	ポートフォリオ動画(5)仕上げ
⑦	縦型動画(4)合評	⑦	合評と修正
⑧	BGMと効果音の選定YouTubeショートアップロード	⑧	クライアントワーク(1)ヒアリング
⑨	横型YouTube動画(1)企画	⑨	クライアントワーク(2)企画立案
⑩	横型動画(2)カット編集、視聴維持率を高める技術	⑩	クライアントワーク(3)編集
⑪	横型動画(3)カラーグレーディング	⑪	クライアントワーク(4)編集
⑫	横型動画(3)テロップデザインの最適化	⑫	クライアントワーク(5)編集
⑬	横型動画(4)BGM・効果音・ナレーションの追加と調整	⑬	クライアントワーク(6)サムネイル作成と
⑭	横型動画(5)トランジション&モーショングラフィックス活用	⑭	クライアントワーク(7)プレゼン準備
⑮	横型動画(6)合評	⑮	プレゼン&合評
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	試験、出席状況、授業に取り組む姿勢、課題により総合的に評価します。
受講生への メッセージ	楽しく制作しながら、YouTubeチャンネルの開設とポートフォリオの完成を目指しましょう。	使用教科書 教材 参考書	特になし(適宜プリントを配布)

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ムービーテクニック	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

ミラーレス機を使用した「映像」と「写真」の両方の視点から、最小限の機材で基礎的なカメラの使用方法や撮影方法を習得する授業です。併せて写真加工や映像編集も行うことで、すぐに使える授業を展開します。

### 【到達目標】

自身で、写真や映像の企画・撮影・編集まで制作できるようになることを目標とします。

### 【教員の略歴】

企業向けのWEBやSNSのプロモーション動画制作をメインに関西を拠点に活動。ドコモ・大阪メトロ・南海電鉄などのインフラ企業や日本各地にある世界遺産などを取材し、ドキュメンタリータッチなショート作品を得意としています。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	生徒のポートレート写真を撮影する	①	好きなYoutube/Instagram/tiktokを紹介する
②	カメラ機能解説/綺麗に撮影する	②	Youtubeの切り抜き動画をつくる①
③	照明を使った写真撮影①	③	Youtubeの切り抜き動画をつくる②
④	照明を使った写真撮影②	④	MVのリリックビデオをつくる①
⑤	ミラーレスで動画撮影	⑤	MVのリリックビデオをつくる②
⑥	ストリートスナップ①(撮影)	⑥	推しを紹介する動画をつくる①
⑦	ストリートスナップ②(編集)	⑦	推しを紹介する動画をつくる②
⑧	履歴書用の写真を撮る	⑧	Vlogをつくる①
⑨	卒業アルバム用の写真を撮る	⑨	Vlogをつくる②
⑩	推しを綺麗に撮影する(物撮り撮影)	⑩	トランジション動画をつくる①
⑪	推しを綺麗に撮影する(編集)	⑪	トランジション動画をつくる②
⑫	就活中にみた採用SNS/採用動画のリサーチ	⑫	ASMR動画をつくる①
⑬	PR動画コンテンツをつくる(撮影)	⑬	ASMR動画をつくる②
⑭	PR動画コンテンツをつくる(編集)	⑭	インタビュー動画制作①(撮影)
⑮	PR動画コンテンツをつくる(編集)	⑮	インタビュー動画制作②(編集)
準備学習 時間外学習	特に何も必要ありません。 普段から気になっている写真・映像に関する疑問・質問だけもってきてください。	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■みんなが作る映像テクニック辞典の充実度</li> <li>■テクニックを盛り込んだショートムービーの完成度</li> <li>■試験・出席率</li> </ul>
受講生への メッセージ	カメラの細かいことよりも、まずは触れて、試してみることを意識して、すぐ使える、明日からできそうなものだけを授業で展開していきたいと思います。	使用教科書 教材 参考書	特になし

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ステージワーク	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実践を通して舞台の日常を伝える							
【到達目標】 しっかりとした技術と知識、そして気持ちを持ち表現者に寄り添える舞台人の育成							
【教員の略歴】 数々の演劇、ミュージカル、オペラダンスの舞台監督を担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	舞台機構を知る(1)	①	前期の復習
②	舞台用語を知る(2)	②	舞台監督と制作の仕事の割り振り
③	見切れ(サイトライン)を知る	③	ミツバチの会議
④	アクティングエリアと導線を知る	④	台本を読み取り必要な道具、情景描写を書き出す。(1)
⑤	舞台平面図の書き方(1)	⑤	台本を読み取り必要な道具、情景描写を書き出す。(2)
⑥	舞台平面図の書き方(2)	⑥	台本を読み取り必要な道具、情景描写を書き出す。(3)
⑦	舞台監督と制作の役割	⑦	タイムスケジュールの解体と構築
⑧	ロープワーク	⑧	タイムスケジュールの解体と構築
⑨	図面のトレース	⑨	制作と舞台監督の打ち合わせの仕方
⑩	ミュージカル制作(1)組織作り	⑩	制作と舞台監督の打ち合わせの仕方
⑪	ミュージカル制作(2)必要な物の拾い出し	⑪	公演に向けての組織作り
⑫	ミュージカル制作(3)台本に沿っての転換確認	⑫	公演のテーマ作成(1)
⑬	ミュージカル制作(4)大道具のリスト作成、積込確認	⑬	公演の制作(1)
⑭	ミュージカル段取り	⑭	ミュージカル段取り
⑮	前期 まとめ 反省	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	毎授業の復習を心掛けてください。	評価方法	試験/講義内容の理解度/授業の態度/積極性
受講生への メッセージ	日々 色々なアンテナを張り「よく見て、聞いて、感じ、考え、答えを出せるように心がけて下さい。」	使用教科書 教材 参考書	授業用資料(舞台図面など)

## 2025年度 授業シラバス

科目名	PAテクニック	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
<b>【授業の学習内容】</b> 前期は機材の組み方や仕組みを理解し、学内イベントなどに参加できる基礎力を養う 後期は学内外イベントでオペレートができるようになるためのトレーニング							
<b>【到達目標】</b> 機材の操作、仕組みを知ることの楽しさを知ること。 出演者、他セクションのスタッフ達と一緒に作品やイベントに取り組むことの楽しさを知る							
<b>【教員の略歴】</b> 宝塚ショーなどを担当。ダンスイベントや音楽イベントなど、関西中心に活躍中。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	マイクケーブル、マイクスタンド	①	前期のおさらい
②	マイクの配線 マイクケーブル、マルチケーブル	②	イコライザー
③	マイクの仕組み 特性 指向性	③	システムチューニング アナログ
④	スタンド、スピーカー	④	ワイヤレスマイク②AT
⑤	スピーカー配線、スピーカーケーブル	⑤	進路ミュージカル対策1
⑥	スピーカーの仕組み	⑥	進路ミュージカル対策2
⑦	回線表 簡易システム構築	⑦	再生機
⑧	回線表 学内小規模イベントシステム構築	⑧	学内中規模イベント対策
⑨	電源	⑨	大型スピーカー①
⑩	アナログミキサー 1	⑩	大型スピーカー②
⑪	アナログミキサー 2	⑪	ここまでのおさらい 後期試験対策口
⑫	エフェクター空間系	⑫	後期試験
⑬	ワイヤレスマイク①SHURE	⑬	進級公演対策①
⑭	ワイヤレスマイク②SHURE	⑭	進級公演対策②
⑮	前期まとめ	⑮	進級公演対策③
準備学習 時間外学習	復習をすること	評価方法	試験、出席と授業態度を重視します
受講生への メッセージ	日本一と言われる音響を目指しましょう	使用教科書 教材 参考書	その都度プリントにて配布する

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ライティングテクニック	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 照明の基本知識の学び、実践を繰り返し行うことで技術の習得する							
【到達目標】 音響、制作が照明の基礎を学び、照明の楽しさを学ぶ。							
【教員の略歴】 数多くの芝居、ミュージカルの照明オペレーターとして活躍。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	照明機材について①	①	劇場の機構について
②	照明機材について②	②	効果器具について①
③	作業時の安全管理/ケーブル処理について	③	効果器具について②
④	カラーフィルターについて	④	電気容量について/ケーブルの種類
⑤	ピンスポットの基本操作	⑤	調光卓について(パッチ・エフェクト)
⑥	照明仕込図・テンプレートについて	⑥	調光卓について(エフェクト)
⑦	回路取り・パッチ作業	⑦	調光卓について(サブマスター)
⑧	調光卓について(パッチ・エフェクト)	⑧	調光卓について(CUE)
⑨	シュート	⑨	調光卓について(まとめ)
⑩	LED照明について	⑩	DMX信号について/電源方式
⑪	LED照明の仕込み方	⑪	照明プランニング①
⑫	仕込み～撤収までの流れについて	⑫	照明プランニング②
⑬	音のきっかけ、明かり作り方	⑬	照明プランニング
⑭	舞台照明の名称と役割①	⑭	ムービングライト①
⑮	舞台照明の名称と役割②	⑮	ムービングライト②
準備学習 時間外学習	学習した事の復習	評価方法	出席・授業態度・試験を総合的に評価する
受講生への メッセージ	動きやすい服装で受講すること	使用教科書 教材 参考書	USB

## 2025年度 授業シラバス

科目名	パフォーマンステクニック	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】  
発声の為の身体訓練…ストレッチ・筋肉トレーニング・中心呼吸・身体の姿勢と全身のコントロール

【到達目標】  
身体の骨格や筋肉を知覚し、可動域をひろげると共に筋力を養う。表現者に必要な身体の土台を作る

【教員の略歴】  
ヴォイス&ボディトレーニング講座及び舞台表現ゼミ講座を立ち上げ、指導を行う

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	身体の説明 ①骨格脊柱 ①体幹部の筋肉 身体を手で触る動かす Barレッスン開始	①	身体の動き 体重移動 ウォーキング/クロスフロアー/アイソレーションB
②	呼吸の説明 腹式と胸式説明 肺の構造 顔のストレッチ 皮膚体操	②	身体の動き 体重移動 クロスフロアー/重力の認識
③	身体の説明 ②骨格骨盤 ②腹筋と大殿筋 曲げる伸ばす 身体のライン矯正	③	身体の動き 体重移動 クロスフロアー/ステップと発声
④	呼吸の説明 腹式チェック 交感神経と深呼吸/鼻呼吸 コントラクションとリリース	④	身体の創作 エアークontakt ペアワーク
⑤	身体の説明 ③骨格頭蓋骨 ③表情筋 皮膚体操/口腔内ストレッチ/変顔リリース	⑤	身体の創作 エアークontakt グループコピー編
⑥	呼吸の説明 発声のメカニズム 響きの確認/声帯と舌根について説明	⑥	身体の創作 ワードによるインプロムーブメントA
⑦	身体の説明 ④骨格上肢 ④腕の筋肉 椅子に座ってのストレッチアームワーク/アイソレーション手首編	⑦	身体の創作 ワードによるインプロムーブメントB
⑧	身体の説明 ⑤骨格下肢 ⑤足の筋肉 椅子ストレッチ レッグワーク/アイソレーション足首編	⑧	ダンスのワーク コンビネーション 腕と上半身で構成
⑨	動きのワーク エクササイズ/アイソレーションA/Bar	⑨	ダンスのワーク コンビネーション 足のリズム・TAP要素で構成 第九の替え歌口の練習
⑩	動きのワーク フロアーストレッチとムーブメントSLOW	⑩	ダンスのワーク コンビネーションA 全身・トータルの動きで構成 第九の替え歌口の練習
⑪	動きのワーク フロアーストレッチとムーブメントFAST	⑪	ダンスのワーク コンビネーションB 全身・トータルの動きで構成 第九の替え歌口の練習
⑫	身体の動きと発声 50音	⑫	後期試験 3項目 Barレッスンの習得度/アイソレーション組み合わせの習得度/ダンスコンビネーション習得度
⑬	身体の動きと発声 リズムと50音	⑬	グループワーク オノマトペと身体創作
⑭	身体の動きと発声 ステップとリズムと50音	⑭	グループワーク オノマトペと身体創作
⑮	前期試験 3項目 ストレッチ習得度/アイソレーション習得度/50音発声習得度	⑮	グループワーク オノマトペと身体創作
準備学習 時間外学習	各自、ストレッチ・腹筋と背筋、体感トレーニング	評価方法	毎回の受講態度及び試験内容 出席率による採点
受講生への メッセージ	スカート不可、ストレッチが可能で身体のラインが見える服装 シューズは無し	使用教科書 教材 参考書	バーレッスンのため、バレエBar 各自すべり止め付の靴下 身体のラインが見える服装

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ヴォイス&ヴォーカル	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

- ・発声練習
- ・課題曲を練習する事で歌詞の意味を考え、表現する事を練習する。(音の強弱やニュアンス、アクセントなど)

【到達目標】

シンガーとしての魅せ方、ユニットの中での個人の魅せ方を習得し、パフォーマンス力・表現力を高める。  
また、個人プレーでは成り立たない、チームプレーの難しさ・チームワークの重要性を学び、コミュニケーション力の強化を目的とする。

【教員の略歴】

ソロシンガーとしてイベント・ディナーショー・アーティストのサポート・テーマパークシンガー・CMソングなど多数出演する。と同時にクワイアーのソリスト・講師として東京・名古屋・大阪・京都など各地で精力的に活動。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介 今年度と上半期の各自目標設定 自主目標設作成、発声基礎	①	年間目標にむけての下半期目標設定
②	一人ずつ歌唱 レベルチェック 発声基礎	②	発声練習、課題曲を用いて練習、歌唱指導①
③	ストレッチ、発声基礎 課題曲を用いて練習①	③	発声練習、課題曲を用いて練習、歌唱指導②
④	ストレッチ、発声基礎 課題曲を用いて練習②	④	発声練習、課題曲を用いて練習、歌唱指導③
⑤	ストレッチ、発声基礎 課題曲を用いて練習③	⑤	発声練習、課題曲を用いて練習、歌唱指導④
⑥	ストレッチ、発声基礎 課題曲を用いて練習④	⑥	イベントを想定しての歌唱指導①
⑦	ストレッチ、発声基礎 イベントを想定して課題曲を決め練習、歌唱指導①	⑦	イベントを想定しての歌唱指導②
⑧	ストレッチ、発声基礎 イベントを想定しての課題曲を練習、歌唱指導②	⑧	イベントを想定しての歌唱指導③
⑨	ストレッチ、発声基礎 イベントを想定しての課題曲を練習、歌唱指導③	⑨	イベントを想定しての歌唱指導④
⑩	ストレッチ、発声基礎 イベントを想定しての課題曲を練習、歌唱指導④	⑩	イベントを想定しての歌唱指導⑤
⑪	イベントを想定して課題曲を発表 レベルチェック 現状の確認 夏季休暇中の課題決め	⑪	レベルチェック 現状の確認
⑫	夏季休暇中の課題チェック 一人ずつ歌唱しレベルチェック 現状の確認	⑫	一人ずつ歌唱しレベルチェック 現状の確認
⑬	ストレッチ、発声基礎 課題曲を用いて練習	⑬	一人ずつ歌唱しレベルチェック 現状の確認
⑭	試験でチェックした課題を用いて 歌唱指導	⑭	試験でチェックした課題を用いて、イベントを想定しての歌唱指導
⑮	試験でチェックした課題を用いて 歌唱指導	⑮	総まとめ 一年間の振り返りと今後の目標設定
準備学習 時間外学習	課題曲の練習と授業で指摘した事についての自主練習	評価方法	実技テスト①歌唱力(声量・音程) ②表現力(アクセント・抑揚・フェイク)について評価する 技能レベル、技能習熟度、授業に対しての積極性、出席率
受講生への メッセージ	歌を通して色々な表現方法を身に付けて欲しいと思います。	使用教科書 教材 参考書	マイク(SM58)

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ダンスパフォーマンステクニック	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

トレーニングは身体の使い方や可動域の広げ方など自分の身体と向き合う時間に。振付は邦楽を中心としたリリカルジャズをベースにJAZZHIPHOPやスロージャズなど幅広い表現力を学んでいただきます。

### 【到達目標】

積み上げた基礎を踊りへと昇華させ、表現力の幅を広げる。自分で振りを生み出せるようになる。

### 【教員の略歴】

数々のダンス大会にて優勝、パフォーマーとしてステージに立ちバックダンサーなどの務める

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介・リズムワーク・アイソレーション・ステップ	①	ソロパフォーマンス練習
②	リズムワーク・アイソレーション・ステップ	②	振り付け講座(生徒)
③	リズムワーク・アイソレーション・ステップ	③	振り付け講座(生徒)
④	リズムワーク・アイソレーション・ステップ	④	振り付け
⑤	振り付け	⑤	振り付け
⑥	振り付け	⑥	発表
⑦	発表	⑦	振りつけ 評価
⑧	振りつけ 評価	⑧	構成講習
⑨	音楽編集講座	⑨	構成講習
⑩	音楽編集講座	⑩	作品作り
⑪	振り付け	⑪	作品作り
⑫	振り付け	⑫	ダンスで活躍するには
⑬	振り付け	⑬	作品作り
⑭	ソロパフォーマンス練習	⑭	作品作り
⑮	ソロパフォーマンス練習	⑮	発表(生徒作作品)
準備学習 時間外学習	毎週の授業でやった事を、少しずつでも練習して下さい。	評価方法	試験・出席率 日々の学校内での態度、従業中の集中度、ダンスに対しての熱量など全てを加味します。
受講生への メッセージ	ダンスを今後の人生でどの様に活動していくかなど、アドバイスもします！ぜひチャレンジしてみましょう！	使用教科書 教材 参考書	音楽・DVDを使用します

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ヘアスタイリング	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 舞台・映像それぞれの必要な技術基本→応用、技法知識							
【到達目標】 色々な技法を知り、応用力を身につける。コンセプト、イメージに合う知識、技術、再現力							
【教員の略歴】 美容師、セラピスト等を経て、現在ヘアメイクとして活動中。(スクール撮影、TVロケ等) ザフェイスメイクオフィス所属。ゲームやアニメなどの2.5次元系、ロリータ、ゴシック、モノマネ等の独特なヘアメイクが特に得意で、コスプレウィッグ作りを作成する事もある。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ドールヘアメイク マット陶器肌	①	カツラ下作り、テーピング、手入れ
②	3Dメイク・海外 コントゥアリング	②	男装 ヘアメイク (ヘアネット・テーピング使用)
③	カラフルメイク ブレンディング・ぼかし	③	2.5次元 メイク 映像 (ヘアネット・テーピング使用)
④	ヘア バリエーション、前髪セット強化	④	2.5次元 メイク 舞台 (ヘアネット・テーピング使用)
⑤	ライティングを意識したメイク 撮影	⑤	特殊メイク クリーチャー
⑥	ショーガールヘアメイク パレード 日光	⑥	アメコミメイク 現実味を消せるか・再現性
⑦	ショーガールヘアメイク パーレスク ライト光	⑦	宝塚舞台 メイク
⑧	フェイスペイントメイク ポイント	⑧	ハロウィンヘアメイク 各々のテーマで
⑨	フェイスペイントメイク 異種肌	⑨	ヴィジュアル系メイク
⑩	特殊メイク アザ、傷 ① 軽め	⑩	ロリータ ヘアメイク
⑪	特殊メイク アザ、傷 ② 重症	⑪	モノマネ ヘアメイク
⑫	老婆 ヘアメイク	⑫	60's・70's 洋レトロ ヘアメイク
⑬	90's 子ギャル ヘアメイク	⑬	苦手分野 チェック
⑭	汚し ヘアメイク	⑭	各々テーマ 映像ヘアメイク
⑮	苦手分野 チェック	⑮	各々テーマ 舞台ヘアメイク
準備学習 時間外学習	復習、練習、研究 次回授業の持ち物は必ず確認	評価方法	試験、出席日数、授業態度、期間最終技術状況から評価
受講生への メッセージ	基礎→応用の順に授業を組んでいます。1年度よりかなり濃いめの授業内容ですが、中々やらないヘアメイクなので楽しく学び、知識や力をつけましょう。特殊なメイク、場所であるほどヘアメイク対象の方は大変です。ケアも一緒に学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	ウィック・クランプ・コーム・ブラシセット・ゴム・ホットカーラー・アイロン・モタボ・筆記用具 ヘアメイク教材一式

## 2025年度 授業シラバス

科目名	メイクテクニク	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

前期:メイクアップ技術検定を通して、基礎的なメイクアップ技術、知識、衛生観念、接客マナーを学びます。後期:成人式ヘアメイクを通して、基本のヘアセット、流行りのヘアメイク、時間を意識した仕上げ方を学びます。

### 【到達目標】

前期:JMAメイクアップ技術検定2級、3級合格。後期:成人式に合わせたヘアセットとメイクが30分程度で仕上げられるようになる。基本的なヘアセット技術を身につける。

### 【教員の略歴】

ヘアメイク歴15年。ブライダル、スチール撮影、映像、舞台等でヘアメイクとして活躍。個性を伸ばし、コンプレックスをカバーするその人の為だけのヘアメイクデザインの提案が得意。特に40代以上のヘアメイク、繊細に作り込んだエレガントなヘアメイクが得意。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	セッティング、メンテナンス方法、ティッシュとタオルの準備	①	カーラー、コテ、逆毛等の基本知識と技術。取り扱い。
②	肌構造、肌に合わせたケア方法、アドバイスと提案	②	ポニーテールと、そのアレンジ 玉ねぎヘア等のアレンジ
③	3級ベース スキンケア～パウダー、ハイ・ローライト	③	編み込みを使ったアレンジ、フルールヘア
④	2級スキンケア スキンケア～ベース	④	ウェーブを使ったシニヨンスタイル、崩し方のコツ、美しいバランス
⑤	2級 ポイントメイク 基本のアイブロウ、アイメイク	⑤	ウェーブとカールで仕上げるアップヘア、毛先をちらす方法
⑥	2級ポイントメイク チーク、リップ、仕上げ	⑥	強度をつけた編み下ろしスタイル、
⑦	2級ポイントメイク スキンケア～仕上げ	⑦	基本の和装、かぶせと立ち上げた前髪
⑧	3級通し セッティング～仕上げ	⑧	さまざまなヘアスタイル、模写ヘア
⑨	2級通し セッティング～仕上げ	⑨	基本的な髪飾り、金箔、水引、パールの置き方。アップヘア、編み下ろし、ポニテでの応用
⑩	モデル練習 3級 仕込み方法と、モデルに合わせたメイクの提案	⑩	時短メイクと、前髪と後毛、アシスタント練習
⑪	モデル練習 2級 モデルに似合うポイントメイクの確認	⑪	接客ロープレ 成人式ヘアメイク
⑫	苦手克服、手技チェック	⑫	成人式ヘアメイク 技術テスト
⑬	復習、模擬試験2級3級(モデル練習)	⑬	卒業式袴ヘアセット ハーフアップのアレンジ
⑭	復習、模擬試験2級3級(モデル練習)	⑭	ダウンスタイル、巻き下ろし、舞台、ステージでの応用術。ダウンスタイルでの飾りの付け方
⑮	検定試験	⑮	新日本髪(桃割)
準備学習 時間外学習	自宅でもイメトレや練習をして、手技を覚えましょう。後期では実際に成人式等の現場でお客様へヘアメイクをします。	評価方法	出席率、授業態度、実技試験から総合的に評価します。
受講生への メッセージ	前期は覚える事が多く、地道な練習となりますが、メイクアップに関する基本的な技術がしっかりと身に付きます。最初は難しく感じるでしょうが、十分合格できる難易度です。後期は実践を繰り返して様々なヘアスタイルを作っていきます。すぐに仕事に繋がられる技術が身につきます。ヘアメイクのことがもっと好きになれるよう、楽しく授業していきたいです。	使用教科書 教材 参考書	JMAメイクアップ技術検定公式テキスト2級3級。足りない道具があれば各自で買い足して頂きます。(ティッシュ、コットン、綿棒等の消耗品、タオル、おしぼり、手鏡、リップクリーム等)

## 2025年度 授業シラバス

科目名	ファッションスタイリング	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ファッション&スタイリングの知識と技術をさらに深める							
【到達目標】 社会人として現場に立った時に戦力として動けるための最低限に知識と技術を習得する							
【教員の略歴】 スチールや映像のスタイリングとディレクションや、舞台衣装監修、ステージデザイン等を手掛ける							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	パジャマデザイン	①	リメイク製作1
②	ミシン演習1	②	リメイク製作2
③	ミシン演習2	③	リメイク製作3
④	ミシン演習3	④	リメイク製作4
⑤	ソーイング:パジャマ製作1	⑤	リメイク製作5
⑥	ソーイング:パジャマ製作2	⑥	パンツ製作1
⑦	ソーイング:パジャマ製作3	⑦	パンツ製作2
⑧	ソーイング:パジャマ製作4	⑧	パンツ製作3
⑨	ソーイング:パジャマ製作5	⑨	パンツ製作4
⑩	シャツ製作1	⑩	パンツ製作5
⑪	シャツ製作2	⑪	撮影現場について
⑫	シャツ製作3	⑫	撮影実践1(ジュエリーブランド)リサーチ・衣装&メイク検討
⑬	シャツ製作4	⑬	撮影実践1:衣装ピック&撮影準備
⑭	シャツ製作5	⑭	撮影実践1:スタジオにて撮影実施
⑮	作品総評	⑮	総評
準備学習 時間外学習	プレゼン準備、現場実習	評価方法	小テストやプレゼン作品による評価出席率・授業態度
受講生への メッセージ	ファッションにおける情報格差がなくなった今だからこそ、洋服を選ぶ審美眼を磨いていきましょう	使用教科書 教材 参考書	適宜用意

## 2025年度 授業シラバス

科目名	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

### 【授業の学習内容】

合同企業説明会や企業訪問などを通して、業界の方と接点を多く設ける。

### 【到達目標】

1年次で形成した自身のキャリアを基盤に、将来の進路に必要なものを逆算し、それらを育む。

### 【教員の略歴】

秘書検定1級・ビジネス技能検定・サービス接遇準1級を取得し、大学・専門学校で約20年秘書検定、ビジネスマナー、就職指導を担当しています。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	スケジュール把握による時間管理向上と前期に向けて(PDCAサイクル)	①	スケジュール把握による時間管理向上と前期の振り返り・後期に向けて(PDCAサイクル)
②	就職対策講座① 会社リサーチ	②	マネー教育 ライフプランを考え、自身のキャリアとのバランス感覚を身に付ける
③	就職対策講座② 履歴書の書き方	③	体育祭 チームワークとリーダーシップをスポーツを通して学ぶ
④	就職対策講座③ エントリーシート対策	④	社会貢献ミュージカル エンターテイメントで社会貢献が出来る事を改めて認識する機会とする
⑤	就職対策講座① 面接対策	⑤	デビューガイダンス①(オータム内) 自己PRを考え自分の強みと弱みを検討
⑥	ITガイダンス&ITリテラシーの重要性 【付与資格】IT理解度テストロゴ承認によりFreeWi-fi使用可	⑥	デビューガイダンス②(オータム内) セルフプロデュース力の強化を通して自己分析を図る
⑦	プロモーションツール制作① 個々の武器となるスキルや表現力見極めそれぞれの感性をさらに磨いていく	⑦	模擬オーディション(オータム内) 本番を想定したプレゼンで自己表現力を磨く
⑧	プロモーションツール制作② 個々の武器となるスキルや表現力見極めそれぞれの感性をさらに磨いていく	⑧	デビュー出陣式 進路先が決定している先輩からの講話を拝聴し、自身の方向性を定めて行く
⑨	合同企業説明会【前期】① 企業様からの説明を通して自身のキャリア発見と形成を促す	⑨	合同模擬面接会① 模擬面接を通して、就職活動における面接の準備をする。
⑩	合同企業説明会【前期】② 企業様からの説明を通して自身のキャリア発見と形成を促す	⑩	合同模擬面接会② 模擬面接を通して、就職活動における面接の準備をする。
⑪	イベント企画① エンターテイメントを創る上で必要となるリーダーシップ・アイデア・イノベーション力を身に付ける	⑪	企業訪問会① 実際の現場に行き、見学することでイメージの明確化を図る
⑫	イベント企画② エンターテイメントを創る上で必要となるリーダーシップ・アイデア・イノベーション力を身に付ける	⑫	企業訪問会② 実際の現場に行き、見学することでイメージの明確化を図る
⑬	イベント企画③ エンターテイメントを創る上で必要となるリーダーシップ・アイデア・イノベーション力を身に付ける	⑬	企業訪問会③ 実際の現場に行き、見学することでイメージの明確化を図る
⑭	スケジュール把握による時間管理能力向上及び、授業アンケート実施における振り返る力の向上を図る	⑭	終業式/グリーンDAY スケジュール把握による時間管理能力向上及び、授業アンケート実施における振り返る力の向上を図る
⑮	前期まとめ	⑮	
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを学校生活以外でも意識して自分の発展に努めてください。	評価方法	出席率とレポート評価
受講生への メッセージ	キャリア教育とは社会人になるための人間形成の一つの手段です。 一緒に色々な自分を発見して成長していきましょう！	使用教科書 教材 参考書	

## 2025年度 授業シラバス

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	3	学科	デジタルメディア科昼間Ⅰ部・Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 制作として進めなければいけない仕事を理解し、資料作りやイベントを実施するための幅広い知識を身につける。							
【到達目標】 イベント本番までの準備期間の時間をどう使うのか？何の作業を行うのか？どう分担するのか？などを授業を通して理解し逆算して行動ができるようになる。							
【教員の略歴】 VP、CM等の広告映像を中心に、モーショングラフィックス、地域プロモーション、展示映像、ライブステージ映像等の制作							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション	①	実際のイベントを通しての準備①
②	連携のとり方 課題～方法まで	②	実際のイベントを通しての準備②
③	Teamsの活用方法	③	イベント本番の準備
④	制作が取りまとめる資料、資料制作について：応用	④	イベント本番の準備
⑤	Excelでの進行表作り(フォーマット)：応用	⑤	実際のイベントを通しての準備③
⑥	その他必要な資料作り(フォーマット)：応用	⑥	実際のイベントを通しての最終準備
⑦	イラストレーターでの資料作り：応用	⑦	イベントの振り返り(イベントを通して)改善点を見つける
⑧	課題：オリジナルの資料 フォーマット作り①	⑧	イベント制作のラストイベントの制作資料作り
⑨	課題：オリジナルの資料 フォーマット作り②	⑨	イベント制作のラストイベントの制作資料作り
⑩	課題提出	⑩	イベント制作のラストイベント ディスカッション
⑪	ディスカッションを踏まえて①	⑪	パワーポイントの活用方法
⑫	ディスカッションを踏まえて②	⑫	課題：イベント企画を考える
⑬	学内イベントについて	⑬	課題：イベント企画を考える
⑭	学内イベントを通しての準備①	⑭	イベント本番の準備
⑮	実際の学内イベントを通しての準備②	⑮	課題提出
準備学習 時間外学習	特に無し	評価方法	出席率・授業態度・課題
受講生への メッセージ	イベント本番までに行わなければならない仕事はたくさんあります。1人1人が考え、優しさを持って周りとの協力できるよう、日頃のコミュニケーションも大切にいきましょう。	使用教科書 教材 参考書	データを保存するためにUSBは必ず持参 外付けSSDを持っている方や 自分のノートPCがあるかたは持参